

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立大森第一中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

古典分野への苦手意識を払拭できるよう指導を工夫した結果、「我が国の言語文化に関する事項」の領域において、区平均との差を2年生では8.3ポイント、3年生では7.9ポイントそれぞれ縮めることができた。

(2) 課題

- ・漢字を正しく書くことなど、基礎的な学習を定着させる必要がある。
- ・文章を「読む」ことと「書く」ことの指導を丁寧に時間をかけて行い、全体の底上げを図る必要がある。
- ・文法や語句など、基礎的な知識を定着させる必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	全ての観点において区の平均正答率を下回った。		
第2学年	全ての観点において区の平均正答率を下回った。	全ての観点において区の平均正答率を下回った。(第1学年時)	
第3学年	全ての観点において区の平均正答率を下回った。	全ての観点において区の平均正答率を下回った。(第2学年時)	全ての観点において区の平均正答率を下回った。(第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の平均に比べ、知識・技能の観点の正答率が下回っている。特に文法・語句に課題がある。	区の平均に比べ、思考・判断・表現の観点の正答率が下回っている。特に言葉の特徴や使い方に課題がある。	データなし

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の平均に比べ、知識・技能の観点の正答率が下回っている。特に漢字を正しく書くことに課題がある。	区の平均に比べ、思考・判断・表現の観点の正答率が下回っている。特に「書くこと」と「読むこと」において大きな課題がある。	データなし

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
区の平均に比べ、知識・技能の観点の正答率が下回っている。特に図表の読み取りや、文法や語句に関する事項に課題がある。	区の平均に比べ、思考・判断・表現の観点の正答率が下回っている。特に複合的な情報を読み取って書くことに課題がある。	データなし

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
毎週漢字テストを実施するとともに、文法や語句の小テストを行い、知識の定着を図る。	目的や意図に応じて、自分の意見を書く機会を増やす。	定期考査の後に、自分の学習を振り返り、次回の試験に向けて目標をたてる力を身につけさせる。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小テストを毎時の授業に取り入れ練習するなど、漢字を書く機会を増やし、定着を図る。	説明的な文章を中心に、様々な文章を読むことに慣れさせる。また、文章を書く機会を増やし、苦手意識を払拭する。	定期考査の後に、自分の学習を振り返り、目標に沿って修正することを行う。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字・語句・文法の定着を図るとともに、図表等の読み取り（図の意図や表から分かることを捉える）に慣れさせる。	複合的な資料を分析し自分の意見を書く機会を増やす。	試験結果の反省を生かし学習を修正することや、あきらめずに粘り強く取り組む姿勢を身に付けさせる。